

平成28年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	Member 制作実行委員会
事業名	ジュニアアスリートサポート事業
課題テーマ	地域を担う人材育成・地域経済の活性化
事業提案の背景	<p>アスリートにとって食事というのは練習と同じくらい大切だと言われています。スポーツをしない人と違い、アスリートは栄養面、食事の摂るタイミング、食べ合わせなどが体作りや試合でのパフォーマンスに密接に関係しています。</p> <p>さらに、ジュニアアスリートにおいては成長期の栄養とスポーツをすることで消費する栄養の補給など配慮が必要になってきます。ですが、現状の釧路において、ジュニアアスリートへの食事サポートの意識が非常に低い状況です。</p> <p>試合間に消化の悪い揚げ物のお弁当を食べさせている姿などもよく見かけ非常に残念に感じます。</p> <p>釧路には才能を秘めたジュニアアスリートが沢山います。彼らを食事面から強化する事によって、心身ともに強いアスリートを育てていくことができると考えられます。</p> <p>そのためには、ジュニアアスリート本人、指導者、そして食事を作るご家庭の方の意識改革が必要になります。</p> <p>また、釧路は海産物、農産物と食材に恵まれている地域でもあります。豊富な釧路産の食材で、ジュニアアスリートむけの栄養バランスの整った食事を作ることが可能です。</p> <p>ジュニアアスリート達が産まれたこの釧路で生産された食材を食べ、正しい食事を摂り、活躍できる強いアスリートを育てたいと考えてこの事業を提案します。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジュニアアスリートを食事面からサポート 2. 釧路産の食材でのアスリート食のレシピ開発 3. アスリート食の認知
事業概要	釧路産の食材を活かしたレシピの開発とPR

事業展開

●2014年ソチオリンピックのマルチサポート・ハウスミール運営スタッフを務めた釧路短期大学の山崎美枝教授監修のもと、釧路産の食材を活かしたアスリート食レシピの開発を行った。開発したレシピはフリーペーパーMember+Over10月号、12月号、2月号にて紹介。(フリーペーパーMember+Over 34,000部発行)

併せて、釧路産の魚の栄養や試合当日の食べ方なども紹介した。



●Member+Overの読者アンケートを活用し読者のアスリート食レシピについてアンケートを行い、どのようなレシピを知りたいか調べ集計をした。アンケート結果を今後のレシピ開発等に役立てていきたいと考えている。

●アスリート食啓発のためレシピブックを(1,000部)作成し、スポーツ課より各スポーツ団体へ配布し、団体、指導者への意識改革を促した。

更に、2月25日(土)釧路市スポーツ少年団による平成28年度釧路市スポーツ少年団後期体力テスト会の閉会式にて参加者へアスリート食についてのPRを行い、レシピブックと別事業で作成した練習と食事の振り返りができる「スポーツノート」も配布を行い、食事とスポーツの密接な関係についても説明をした。

釧路 AT1 バレーボール (16名)

鶴野鳥取大楽毛レジェンズ (24名)

附属イーグルス (12名)

釧路共栄・光陽サッカー (18名)

T・WEST サッカー (1名)

釧路鶴野バレーボール (10名)

釧路ゴールデンモンキーズ (3名)

釧柔会 Jr. (29名)

パレスボウルジュニアボウリングクラブ (6名)

合計9団体(119名)へ配布を行った。

小笠原実行委員長よりアスリートにとっての食事の大切さを説明した。



ノートとレシピブックに興味津々な子供達
「今日、作ってもらう！」と話している姿も見られた。




指導者、保護者もいる中での説明と配布を行ったので、
チーム単位での活用が期待できると考えられる。

●一般社団法人スキルチャレンジと連携し、運営するトRESTA
でも配布・活用され、公式フェイスブックページでも紹介され
た。



一般社団法人スキルチャレンジより、釧路選抜の強化選手達に、
スポーツノートとアスリート食レシピを配布し、スポーツノート
の重要性や食事の大切さを伝えてくれました。また公式フェ
イスブックページへの問合せもあり送付対応など協力してい
ただいた。

釧路選抜の強化選手達がチームに持ち帰り活用される事が期待
でき、より広く食事の大切さが伝わると考えられる。

	<p>●フェイスブック、釧路新聞などでPRを行い、問合せのあったチーム・個人に送付をして、アスリート食の認知度を高める活動を行った。</p> 
<p>成果目標の達成状況</p>	<p>釧路市スポーツ少年団後期体カテスト会での配布によって多くの、子供達本人、指導者、保護者にむけてアスリート食の大切さをPRする事ができ認知度を高めることができたと考えられる。</p> <p>フリーペーパーMember+Overでのレシピ紹介と併せ試合当日の食べ方を紹介した事により多くのジュニアアスリートと支える人々に対し意識改革を促す事ができた。</p> <p>アンケートの結果や聞き取り調査においても今後の試合にむけての食事について意識が高まっていると感じる。</p>
<p>波及効果の達成状況</p>	<p>一般社団法人スキルチャレンジとの連携によりより深くチームや指導者、保護者の意識改革を行うことができたと考えられる。</p> <p>釧路市スポーツ少年団後期体カテスト会ではチームとして食について考える時間を持つことができ、チームメイト同士で食事への考え方を変える事を意識する事ができたと言える。</p> <p>レシピブック配布ではレシピの他に釧路産の魚の栄養について紹介している事により、釧路産の食材への意識も高く持たれ、域内循環に繋がる事が予想される。</p>
<p>実施体制</p>	<p>Member 製作実行委員会</p>
<p>連携した市担当課</p>	<p>有 (生涯学習部 スポーツ課)</p>
<p>連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)</p>	<p>Member+Over 配布 レシピブックの配布 平成28年度釧路市スポーツ少年団後期体カテスト会での配布</p>

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
自己資金	15,600	
合 計	115,600	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託料	40,000	レシピ開発費 釧路短期大学山崎教授
印刷費	75,600	レシピブック B5 二つ折りカラー8P 1000部
小 計	115,600	
対象外経費		
小 計	0	
合 計	115,600	